対エジプト事業展開計画

２００９年５月１９日現在

【外交政策上の特記事項等】
●我が国とエジプトの間には伝統的な友好関係・チャンネルが存在
●アジア・アフリカ・欧州の接点という地政学的な要衝に位置する大国であり、中東・アフリカ地域の平和と安定にとってエジプトの積極的な関与が不可欠
●経済のグローバル化が進む中で、エジプトが政治的影響力に加え経済力も強化し中東・アフリカ地域において影響力のある安定勢力であり続けるための自助努力を支援していくことが重要
●１９９８年１０月、我が国とアフリカの南南協力のための三角技術協力プログラムに関する枠組み文書に署名したサブ・サハラ開発における我が国のパートナー国
●クールアース・パートナー国

【援助重点分野】 持続的経済成長と雇用創出の実現

【開発課題】
投資・ビジネス環境改善

【現状と課題】
電力需要の伸びが年率7%で推移しており、安定的に電力を供給するため、需要に見合った計画的な発電設備の整備が喫緊の課題となっている。エジプト政府は、電源の多様化を目指し、環境負荷軽減効果を重視した新・再生可能エネルギー活用に注力しており、エネルギー最高評議会では、2020年までに電力供給の20%（12%風力発電、8%その他）を再生可能エネルギーによって賄う計画や、「エネルギー利用の効率化」、「省エネの推進」に取り組んでいく方針が決定されている。
また、急激な経済成長や人口増加の結果、深刻化する都市圏の交通問題や環境問題の抜本的対策が必要となっている。
また、ビジネス環境については、行政手続の遅延、税関でのトラブル、知的所有権の侵害等の問題が依然として指摘されている。本邦企業のエジプトにおける活動の円滑化を支援するという観点からも、こうした問題の解決が必要である。

【開発課題への日本の対応方針】
エジプト政府は、増加する電力需要に対し、エネルギー源の多様化やエネルギー効率の向上を図りつつ対応していくことを目標とし、新・再生可能エネルギー分野による発電設備や省エネの推進を重要視しており、同分野への協力を行う。これらの分野への協力は、2008年1月に日本政府が発表したクール・アース・パートナーシップに資するものであり積極的に支援を検討する。
運輸セクターについては、開発調査等の結果に基づき、道路網・鉄道網整備、主要交通機関の安定化などに対する支援を検討していく。

協力プログラム名	協力プログラム概要	プロジェクト名	スキーム	実施期間 2008年度以前	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	支援額（億円）	備考
【プログラム】 電力インフラ整備支援	急増する電力需要に対応するため、電力インフラの整備に関する協力を行う。	カイローアレキサンドリア送信網計画	有償							50.01	
		上エジプト給電システム改善計画	有償							107.68	
【プログラム】 新・再生可能エネルギー導入支援	風力発電所の建設を含む新・再生可能エネルギーを用いた発電所の建設を支援すると共に、エネルギー利用効率化と省エネの推進にかかる支援を実施する。	ザファラーナ風力発電計画	有償							134.97	
		コライマット太陽熱・ガス統合発電計画	有償							106.65	
		コライマット太陽熱・ガス統合発電計画（II）	有償							94.40	上記案件のフェーズ２
		ガバルエルゼート風力発電事業SAPROF	協準								
		ナイル渓谷風力発電所建設計画準備調査（その１）	協準								
		電力セクター向け省エネルギー協力プログラム準備調査	協準								
【プログラム】 運輸交通効率化 【サブプログラム】 ゲートウェイ機能強化	投資環境改善、輸出促進、産業育成に資する、安定的・効率的な運輸交通体系を構築するための支援を実施する。	ポルグ・エル・アラブ空港近代化計画	有償							57.32	
		東地中海地域海陸一貫物流システム調査	開発計画								
		物流近代化（ドライポート）アドバイザー	個別専門家								
		スエズ運河収入向上戦略	個別専門家								
【サブプログラム】 都市間複合輸送体系整備		全国総合運輸調査	開発計画								
【サブプログラム】 都市内交通改善		大カイロ都市圏持続型都市開発整備計画調査	開発計画								
		カイロ地下鉄４号線建設事業準備調査	協準								フィジビリティー調査
		カイロ都市有料高速道路整備優先区間フィジビリティー調査	開発計画								

【開発課題】 輸出振興・産業育成

【現状と課題】
輸出促進には、国内産業の競争力強化に加えて、海外及びエジプト国内における活発な輸出振興活動や貿易研修が必要である。産業育成は、経済活動と雇用創出の中核を担う存在であるが、特に製造業において、品質・価格面で国際競争力に乏しいのが現状であり、産業界の技術レベルを向上させるともに品質の高い製品を製造することが緊喫の課題となっている。また、労働人口の8割が従事する中小・零細企業は、資金、設備、経営等の課題を抱えている。
観光セクターについては、最大の外貨獲得源であり、雇用創出の面でも比較優位が高いことから、エジプト政府は、その開発を重視し、観光資源の開発・保存等を通じて、その魅力を高め集客力の底上げに取り組んでいる。
また、産業の国際競争力を高めるため、能力の高い熟練労働者に加え、R&D（研究開発）に携わる高度な専門知識や技術を有する産業人材の育成が必要不可欠となっている。

【開発課題への日本の対応方針】
輸出促進については、通商産業省傘下のエジプト輸出振興センターに専門家を派遣し、輸出振興に関する協力を行っている。産業育成については、通産省生産性・品質向上センター（通称、KAIZENセンター）が順調に立ち上がっており、専門家派遣等、同センターへの協力を引き続き推進する。中小企業支援については、社会開発基金（SFD）を通じたツー・ステップ・ローンを引き続き進めていく。
観光については「大エジプト博物館建設計画」に対する円借款供与を軸として、我が国の知見と技術を活用しつつ、ハード・ソフトの両面から、こうした取組を積極的に支援していく。
産業・人材育成については、日本政府の取り組みとして実施される「日本・エジプト科学技術大学（E-JUST）」支援を軸に、科学技術立国である我が国の知見と技術を活用する。

協力プログラム名	協力プログラム概要	プロジェクト名	スキーム	実施期間 2008年度以前	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	支援額（億円）	備考
【プログラム】法制度面の整備支援	輸出振興・産業育成に係る法制度整備支援を実施する。	競争法・政策研修	課題別研修								
【プログラム】産業競争力強化・生産性向上支援	2007年度開始の技プロ「生産性･品質向上プロジェクト」で支援するカイゼンセンターを軸として、エジプト産業界に日本の生産性向上運動の普及を図る。	生産性･品質向上センター	技プロ								
		生産性向上(2)	SV								重工業／軽工業・繊維
【プログラム】中小企業振興支援	国内でも貧困度が高い上エジプト等の中小企業に対し、新規雇用創出・貧困緩和を促すための支援を実施する。	社会開発基金計画	有償							51.94	
		零細企業支援計画	有償							37.60	SFDを介した零細・中小企業支援
		プラントメンテナンス （１）	SV								
【プログラム】輸出振興のための政策策定・組織構築支援	輸出振興には、国内産業の競争力強化に加え、国外における輸出振興活動も重要。我が国の高度経済成長を支えた輸出振興の経験を踏まえた支援を実施する。	エジプト輸出振興センター（EEPC）	技プロ								
		貿易研修センターフェーズ２（FTTC）	技プロ								
【プログラム】観光開発支援	観光セクターは、主要な外貨獲得源であり、雇用創出の面でも比較優位が高いことから、円借款供与が決定された「大エジプト博物館建設計画」を軸として、エジプトの観光振興に資する支援を実施する。	大エジプト博物館建設計画	有償							348.38	
		大エジプト博物館保存修復センタープロジェクト	技プロ								
		大エジプト博物館収蔵文化財保存修復データベース（１名）	JOCV								保存修復センター技プロと連携
【プログラム】産業人材育成支援	熟練技術者の育成や高度な専門知識や技術を有する人材を中・長期的な視点での育成を支援する。	エジプト日本科学技術大学（E-JUST）プロジェクト	技プロ								
		科学技術政策アドバイザー	個別専門家								
		建設機械・工作機械等職業訓練 （２名）	SV								過去に無償にて整備した建機Ｃ・職訓に派遣

【開発課題】 持続可能な発展に資する環境対策

【現状と課題】
エジプトでは深刻な環境汚染が問題となっている。開発と環境を両立させ持続可能な発展を確保するため、持続的な経済成長を遂げつつ人の健康の保護と自然環境の保全を図る取り組みが急務となっている。

【開発課題への日本の対応方針】
これまで環境モニタリング体制の構築を支援してきたところ、今後は、その定着を引き続き支援するとともに、環境に十分配慮した産業振興を支援するとの観点から、「環境汚染軽減計画」に対する円借款供与を軸として、工場の環境対策も支援していく。

協力プログラム名	協力プログラム概要	プロジェクト名	スキーム	実施期間 2008年度以前	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	支援額（億円）	備考
【プログラム】環境モニタリング体制の定着支援	わが国はこれまで10年以上にわたって環境モニタリング体制の構築を支援しており、引き続き支援を継続する。	地域環境管理能力向上プロジェクト	技プロ								
【プログラム】工場の環境対策導入支援	環境に十分配慮した産業振興を支援するとの観点から、環境汚染軽減計画による、工場の環境対策も支援する。	環境汚染軽減計画（EPAPII）	有償							47.20	

【援助重点分野】　**貧困削減・生活の質の向上**

【開発課題】公共サービスの拡充・改善

【現状と課題】
上下水道整備に代表される生活インフラの整備について、これまで、カイロ、ギザの大都市圏を中心に協力を行ってきたが、上水道については、貧困問題がより深刻な南部農村地域や環境汚染問題の深刻化が懸念される上エジプト・ナイルデルタ地域においてとりわけ普及・整備が遅れている。下水道については、カイロ首都圏も含め整備が相当に遅れており、河川の汚染等が問題になっている。
保健医療分野では、これまでユニセフとの協力の下、ポリオ等の感染症対策や地方における母子保健サービスの向上等の協力を行ってきたほか、草の根・人間の安全保障無償資金協力により、巡回型の医療車両を供与するなど、特に地方における医療アクセス向上に向けた取組を行ってきたが、地方における医療アクセスの向上が引き続き重要な課題であるとともに、都市部における貧困層の増加も深刻な問題であり、こうした人々が十分な医療サービスを受けられるよう医療体制の充実を図る必要がある。
教育分野では、これまで我が国は、初等理数科教育における質の向上のための技術協力や、当国NGOによる女子教育や幼児教育に対する草の根・人間の安全保障無償資金協力やボランティアによる支援を行ってきた。

【開発課題への日本の対応方針】
上下水道や廃棄物処理といった生活インフラの整備をその維持管理体制の強化と組み合わせて支援していく。
保健医療分野では、地方や貧困層の医療サービスへのアクセス向上を引き続き支援していく。
基礎教育の充実と改善は引き続きこれを支援し、人的資源の強化を目指す。

協力プログラム名	協力プログラム概要	プロジェクト名	スキーム	実施期間 2008年度以前	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	支援額（億円）	備考
【プログラム】上下水道・廃棄物処理体制の整備支援	人口が急増している大カイロ圏の低所得者層が多く居住する地域や、新興開拓地であるシナイ半島やナイル川上流地域といった上下水道の普及の遅れている地域を重点地域として維持管理体制の支援とともに上下水道の整備支援を実施し、貧困層の生活環境の向上を図る。	シャルキーヤ県上下水道公社運営維持管理能力向上プロジェクト	技プロ								
		ナイルデルタ地域上下水道公社運営維持管理能力向上プロジェクト	技プロ								
		エルマハラ・エルコブラ浄水場拡張計画	無償							23.49	
		ベヘイラ県イタイ・エルバールード郡水供給改善計画準備調査	協準								
		アブラワッシュ下水処理場整備事業準備調査	協準								
【プログラム】基礎医療サービスへのアクセス向上支援・学校保健の充実	ＭＤＧｓ達成に向け、保健医療サービスを十分に享受できていない地域を重点に支援を実施する。また人口の２０％を占める小・中・高校生を対象とした学校保健への取り組みを支援する。（学校保健への支援の効果として、将来のリプロダクティブ・ヘルス及び慢性疾患発生リスクの軽減が期待される。）	カイロ大学小児病院外来診察施設建設計画準備調査	協準								
		上エジプト地域看護管理研修プロジェクト（現地国内研修）	技プロ								
		結核対策従事者人材育成プロジェクト（現地国内研修）	技プロ								
		作業療法士、看護士、臨床検査技師　（４名）	JOCV/SV								
		上エジプト学校保健サービス促進プロジェクト	技プロ								
基礎教育分野非プログラム案件		コンピュータ技師　（１名）	JOCV								大学運営に従事
		幼児教育改善　（１２名）	JOCV/SV								エジプトでのボランティア事業の中心
		スポーツ　（２名）	JOCV/SV								柔道・合気道等

【開発課題】社会福祉の向上

【現状と課題】
都市部を中心として、障害者やストリート・チルドレン等の社会的弱者に対する福祉の不備が社会問題化している状況の中、社会連帯省を中心として都市部・地方部の障害者をNGO等を通じて支援しているが、予算不足・キャパシティ不足により十分に機能しているとは言い難い。また、大カイロ都市圏を初めとした都市部では、地方部のようなコミュニティーによる弱者保護の機能が弱く、公的セクターを中心とした社会福祉が必要とされているものの、急激な人口増加が続く中で質量共に十分なものとは言えず、ストリート・チルドレン等に対する福祉の不備が社会問題化している。

【開発課題への日本の対応方針】
公正な社会の形成が社会的安定を促進するという観点から、現行の障害者支援技術協力と併せ、今後も、草の根・人間の安全保障無償資金協力やJOCV派遣等を通じて、障害者等の社会的弱者の自立促進を現地NGO等と協調して支援していく。
障害者支援については、住民コミュニティーを中心とした障害者支援（CBR）に係る技術協力を継続していくと共に、今後も、草の根・人間の安全保障無償資金協力やJOCV派遣等を通じて、障害者の自立促進を現地NGO等と協調して支援していく。
ストリート・チルドレン支援については、公正な社会の形成が社会的安定を促進するという観点から、従来の草の根・人間の安全保障無償資金協力やJOCV派遣等に加え、無償資金協力・技術協力等によるストリート・チルドレンの就学や職業訓練に対する支援も検討していく。

協力プログラム名	協力プログラム概要	プロジェクト名	スキーム	実施期間 2008年度以前	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	支援額（億円）	備考
【プログラム】貧困層支援	貧困削減に資する地域開発、雇用確保による収入向上のため、雇用の受け皿となりうる零細・小企業への支援を実施する。また、貧困層において、特にその影響を受けやすい女性の地位向上・収入確保に関する支援を実施する。	女性の収入確保（村落開発普及員等）（８名）	JOCV								
【プログラム】障害者支援	コミュニティを中心とした障害者支援の進展に寄与する支援を実施する。	地域開発活動としての障害者支援プロジェクト	技プロ								
		心身障害者支援　（８名）	JOCV								
		聴覚障害者用職業訓練所開設計画	草の根								
【プログラム】ストリートチルドレン対策	都市部を中心としたストリートチルドレン等の社会的弱者に対する福祉の不備が社会問題化している中、公正な社会の形成が社会的安定を促進するという観点からの支援を実施する。	ストリートチルドレン保護・インフォーマル教育（９名）	JOCV/SV								
		ストリートチルドレン支援学校機材整備計画	草の根								
		ストリートチルドレン支援準備調査	協準								

【開発課題】

農業・農村開発

【現状と課題】
就業人口の約3割を占める農業は、大規模経営農家と小農との二極構造にあり、農家数では9割以上が小農であり、小農を対象とした農村開発は最も効果的な貧困対策となり得る。他方、エジプトの農業は灌漑に依存しており、その開発には水需要全体から見た水資源の有効利用の促進や限られた耕作地を効果的に活用するための農業技術の普及も必要である。

【開発課題への日本の対応方針】
農村開発を通じた貧困削減を基本として、地域の重点化、プログラムの相乗効果により、これらを組み合わせた総合的な支援プログラム作成の可能性を検討する。

協力プログラム名	協力プログラム概要	プロジェクト名	スキーム	実施期間 2008年度以前	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	支援額（億円）	備考
【プログラム】 ナイルデルタ等の水利用・農業生産の効率化、小農の所得向上支援	ナイルデルタ等の水利用の効率化及び小農の所得向上を支援するために有効な協力を実施する。	ナイル流域における食糧・燃料の持続的生産	科学技術								～2014年6月
		水管理改善プロジェクトⅡ（農民水利組織の能力向上）	技プロ								
		貧困農民支援（イスマエリア県、ポートサイード県）	無償							2.90	
【プログラム】 上エジプトの農業基盤・農村構造の改善	本開発課題の中軸として、上エジプト地域の農業基盤・農村構造の改善を図るため、幹線水路における基幹構造物の改修、農業機械化の推進、農村振興方策の検討等を実施する。	バハルヨセフ灌漑用水路ダハブ堰改修計画	無償							21.40	1992年開調結果による同用水路の堰改修（4番目）
		ダイリュート堰群改修事業準備調査	協準								
		貧困農民支援（アシュート県、ソハーグ県）	無償							4.70	
		農産物流通改善を通じた上エジプト農村振興プロジェクト	開発計画								
		第４次上エジプト灌漑施設改修計画	無償							7.90	
		養殖　（１名）	SV								
【その他】	本開発課題のうち、上記2プログラム以外として、エジプト全土の農業・水資源政策に総合的な見地より助言する専門家を派遣する。	農業・水資源政策アドバイザー	個別専門家								
		砂漠開拓地農民農業生産技術向上プロジェクト	技プロ								完了（2009年3月）

【援助重点分野】 地域安定化促進

【開発課題】

中東の平和と開発のための支援

【現状と課題】
エジプトは中東地域の安定化に向けて建設的な役割を果たしてきている。
我が国は、エジプトにおいて過去に支援してきた政府関係機関における人材及び知見の蓄積を活用して、第三国研修等を実施してきている。このような協力は経済的、社会的に適切かつ効率的であるとともに、研修員を受け入れるエジプト側機関の自立発展を促すという効果も見込まれる。

【開発課題への日本の対応方針】
イラクの再建や中東和平の進展は、中東地域の平和と安定のみならず、多くの石油・天然ガス資源を中東地域に依存している我が国の安心・安全にも不可欠である。我が国はエジプト政府と協力して、イラク復興やパレスチナの国造りに資する人材育成支援を継続していく。その際には、我が国のイラク復興支援及びパレスチナ支援における資金協力との相乗効果が期待できる協力を重視していく。

協力プログラム名	協力プログラム概要	プロジェクト名	スキーム	実施期間 2008年度以前	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	支援額（億円）	備考
【プログラム】 中東地域連携協力支援	イラク・アフガニスタン再建やパレスチナの国造り等、中東地域の域内協力による受益国の人材育成支援の一環として、エジプト政府に比較優位のある分野において、受益国のニーズに応じた第三国研修を実施する。	イエメン向け第三国研修「水資源管理」	技プロ								
		イエメン向け第三国研修「女性の健康」	技プロ								
		発電所運営維持管理（エジプト）	第三国研修								イラク向け第三国研修
		パレスチナ向け医療研修	技プロ								
		イラク向け第三国研修「灌漑のための水資源管理」（エジプト）	第三国研修								
		イラク向け第三国研修「ICU/CCU看護師」（エジプト）	技プロ								
		中東諸国向け第三国研修「結核対策」	技プロ								

【現状と課題】
エジプトはアフリカの中核国として、サブ・サハラ諸国及びナイル流域国の開発支援に積極的に関与してきている。　また、エジプト政府は、1981年に外務省内にアフリカ向け技術協力基金（EFTCA）を設立し、アフリカ諸国への技術協力を展開するなど、南南協力を積極的に推進している。
今後ともこうした協力を一層強化し、エジプトを中東・アフリカにおける一拠点と位置付け、受益国側のニーズ、実施国であるエジプト側の意向およびエジプトの比較優位等を踏まえた支援を検討する。

【開発課題への日本の対応方針】
我が国のエジプトにおけるアフリカ諸国向け三角協力は20年の歴史を有している。1998年のTICAD（アフリカ開発会議）Ⅱ開催時に我が国とエジプトとの間で「アフリカにおける南南協力の推進のための日・エジプト三角技術協力計画」に関する枠組み文書がエジプトと署名され、JICAとEFTCAをそれぞれの実施機関として対アフリカ支援を拡充していく基本方針が確認されている。今後とも、対アフリカ支援の一環として、NEPAD（アフリカ開発のための新パートナーシップ）プロセスにおけるエジプトの役割にも留意しつつ、サブ・サハラ諸国向け第三国研修等の南南協力を実施する。その際には、ナイル川流域諸国間の協力関係の促進、サブ・サハラ諸国のミレニアム開発目標達成への貢献を特に念頭に置くこととする。

【開発課題】

サブ・サハラ諸国の開発支援

協力プログラム名	協力プログラム概要	プロジェクト名	スキーム	実施期間 2008年度以前	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	支援額（億円）	備考
【プログラム】 アフリカ地域連携協力支援	アフリカ地域でニーズの高い農業、灌漑、保健医療分野中心に、日・エのコストシェアによる第三国集団研修を実施する。	アフリカ向け第三国研修「感染症免疫分析と総合的品質管理」	技プロ								
		スーダン向け第三国研修「保健医療サービスの総合的品質管理」	技プロ								
		アフリカ向け第三国研修「温水域における水産一般　第２フェーズ」	技プロ								
		アフリカ向け第三国研修「灌漑と排水　第２フェーズ」	技プロ								
		アフリカ向け第三国研修「女性の健康管理」	技プロ								
		アフリカ向け第三国研修「農産物加工」	技プロ								
		アフリカ向け第三国研修「精米処理技術」	技プロ								
		アフリカ向け第三国研修「結核エイズ診断能力強化」	技プロ								
		アフリカ向け第三国研修「稲作技術」	技プロ								CARDとの連携
		アフリカ向け第三国研修「感染症免疫分析」	技プロ								
		アフリカ向け第三国研修「保健医療サービスの総合的品質管理」	技プロ								